



NEWS RELEASE

講演会のお知らせ

2017年7月12日

入試広報部



巨大恐竜のなぞに迫る！

——23日にボン大学のサンダー教授を招いて講演会


長い首を持ち四足歩行する「竜脚類恐竜」の著名な研究者であるボン大学のマーティン・サンダー教授を招いて、以下の要領で講演会を開催しますので、ご案内申し上げます。文部科学省の私立大学研究ブランディング事業（2016年度）に採択された「恐竜研究の国際的な拠点形成－モンゴル科学アカデミーとの協定に基づくブランディング－」事業の一環です。

<日時> 7月23日（日）午後1時30分開会（午後0時30分開場）、午後3時終了予定

<会場> 岡山市北区理大町1-1、岡山理科大学C1号館8階・理大ホール

<講師> マーティン・サンダー教授（ボン大学）、石垣忍・生物地球学科教授、林昭次・生物地球学科講師

<テーマ> 「恐竜の謎に迫る」をテーマにサンダー教授の講演に続いて、石垣教授が「足跡化石に残る巨大恐竜の姿勢・運動・行動」と題して話します。講演後、林講師も加わり、3人が巨大恐竜研究の夢を語り合います。

マーティン・サンダー ドイツ・ボン大学古生物学部教授。専門は恐竜類をはじめとした中生代の大型爬虫類化石。特に骨の内部組織の観察に基づくことで、これまでに謎とされてきた竜脚類恐竜の巨大化の要因など、絶滅動物の隠された生態と進化について様々な発見をしています。『Nature』や『Science』誌をはじめ、150本以上の学術的な論文や専門書を執筆しており、世界を代表する恐竜研究者の一人です。理大とも中生代の爬虫類化石についての共同研究を行っています。

<参加方法>

・参加は無料で、事前申し込みも不要です。当日、会場にお越しください。なお、この日はオープンキャンパスと重なるため、駐車場が満車となる可能性もあり、なるべく公共交通機関をご利用いただくようお願いします。岡山駅運動公園口（西口）からは無料送迎バス（たんQくんラッピングバス）を運行しています。

◆お問い合わせ先：理大入試広報部（電話・086-256-8412）